

No.	1	2	3	4	5	6	7	8	9
テーマ	建設プロジェクトにおける環境配慮事例	防災に役立つ岩盤力学	知っていますか？こんなところに役立つ岩盤力学	歴史的鋼橋の調査結果の公開	研究小委員会報告書の公開	鉄道のきのう・きょう・あした	川の流れをたどって	流れの不思議	がけ崩れ・土石流災害(土砂災害)は恐ろしい
委員会	コンサルタント委員会(環境問題研究小委員会)	岩盤力学委員会	岩盤力学委員会	歴史的鋼橋調査小委員会	鋼構造委員の会各研究小委員会	構造工学委員会鉄道構造小委員会	水理委員会	水理委員会	水理委員会
対象者	一般市民	一般市民	小中学生	橋梁を専門とする技術者、歴史的建造物あるいは遺産に興味のある一般読者	専門技術者	中学生	小中学生	小中高生	小中学生
委員会内順位		岩盤-1	岩盤-2				水-1	水-2	水-3
概要	<p>・道路等の建設プロジェクトにおける環境配慮事例を紹介する。</p> <p>・現在、コンサルタント委員会環境問題研究小委員会のホームページに掲載されている「建設プロジェクトにおける環境配慮指針」を再編集して紹介する。</p>	<p>1. 岩盤に関わる事故例</p> <p>・豊浜トンネル事故等の事例を挙げ、社会的に岩盤の健全性を保つことの意義を説明。</p> <p>2. 設計と防災対策の種類</p> <p>・岩盤構造物の設計、補強工法の概略紹介。</p> <p>3. 岩盤力学、岩盤工学とは</p> <p>・設計・施工で問題点とそれらを解決するために岩盤力学・岩盤工学が重要な役割を果たしていることの説明。</p> <p>4. 岩盤力学委員会でのこれまでの研究</p> <p>・これまでに実施されてきた岩盤崩落等に関する研究活動の紹介。</p> <p>5. 望まれるリスク評価のシステム</p> <p>・適切な構造物管理のために求められるリスク評価システムの方向性と検討状況。</p>	<p>・ノーベル賞を支えた巨大空洞 ~ 巨大岩盤掘削空洞スーパーカミオカンデを用いた物理学観測</p> <p>・えっ、華厳の滝が消える?! ~ 崖の崩壊を防ぐ岩盤補強の実例</p> <p>・クリーンなエネルギーは穴を使っている ~ 地下揚水発電所の建設と電力供給に果たす役割</p> <p>・将来のトップアスリートは岩盤工学のおかげ ~ 神岡鉱山内跡を利用したマラソンランナートレーニング</p> <p>・日本各地でいい湯だな ~ 大深度ボーリング技術による地元温泉探し</p> <p>・スキー場へ日帰り旅行 ~ 山岳トンネル掘削技術のシンボが支えた長大道路トンネル、鉄道トンネルの建設等 事例を紹介</p>	<p>1. 平成14年5月に活動を完了した「歴史的鋼橋調査委員会」の委員会成果のひとつである、歴史的鋼橋データベースをweb上で利用できる形で公開するもの。</p> <p>現状、鋼構造委員会にてCD-ROMを作成して成果の配布に努めようとしているが、コストおよび土木学会サーバの対応の問題からWebでの公開を見送った経緯がある。</p> <p>今回、Webのコンテンツとして公開できるのであれば、活用が期待できるとともに対外的にもアピールできる内容と考えられる。</p>	<p>1. 講習会またはシンポジウムにて配布している研究成果の報告書を.pdf形式のファイルで公開するもの。書籍として販売しているもの、委員会の性格上公開していない成果は除く。</p> <p>2. 研究小委員会の研究成果を広く活用していただくために、可能な限りウェブ上での公開を目指すもの。研究小委員会あるいは鋼構造委員会として、報告書作成時の対応は比較的容易なので、webにて公開するための仕組みを土木学会サイドで用意いただきたい。</p>	<p>1. 鉄道のきのう</p> <p>・主な建設プロジェクトと鉄道とのかわりを中心に紹介する。</p> <p>2. 鉄道のきょう</p> <p>・エネルギー、環境、安全・安心など、現在の鉄道の取り組んでいる土木に関連した課題について紹介する。</p> <p>3. 鉄道のあした</p> <p>・フリーゲージトレインやリニアモーターカーなど、将来の鉄道技術を紹介する。</p>	<p>1. 川の水はどこからやってくるのでしょうか。</p> <p>・水源から河口までの写真などを掲載し説明し、湖沼・貯水池なども含めた水循環について解説する。河川の土砂輸送についても説明する。</p> <p>2. 川にはどんな生き物がいるのでしょうか。</p> <p>・生物図鑑のHPへリンク。水質・生態系の説明とそのモデリング技術の解説。</p> <p>3. 洪水は怖くないですか。</p> <p>・洪水災害や氾濫の写真などを掲載、洪水災害防止のための工法、構造物などの解説を行う。</p> <p>4. 川にはどんな植物があるのでしょうか。</p> <p>・河川の植生の紹介し、河道内の植生と洪水流れの関係、自然との共生と再生について解りやすく説明する。</p>	<p>1. 渦潮はなぜ起きるのでしょうか。</p> <p>・細田・木村先生のHPなどをもとに解りやすく説明する。</p> <p>2. 旗はなぜはためくのでしょうか。</p> <p>・カルマン渦を解りやすく説明をする。</p> <p>3. 台風の進路について</p> <p>・コリオリ力と台風の進路の説明をする</p>	<p>台風・豪雨・地震に伴う土砂災害について紹介して説明。</p> <p>・全国治水砂防協会のHPの「土砂災害情報」ページ、国土交通省砂防部のページも紹介</p>
評価									
レベル1		4,5							
レベル2		1,2,3							
レベル3									
備考				サーバーの実体は変化ないので現状では難しい。	サーバーの実体は変化ないので現状では難しい。				リンク集は委員会独自でメンテナンス含め実施してもらう。

評価凡例

- レベル1 : 委員会独自で実施可能、または、現状のインターネット環境では実現が難しい。
- レベル2 : 委員会の協力を得て標準化活動を行った後、各委員会ごとに内容を充実させる。
- レベル3 : 部門横断的な高い視点からの活動を行うことにより実現できる。

コンテンツ充実のためのアンケート集約結果(2/3)

No.	10	11	12	13	14	15	16	17	18
テーマ	いろいろな日本の川	地震・防災おすすめサイト	地震と防災に関するトピックス20	地震と防災に関する易しい用語集	土の不思議：子供のための土質実験	地盤工学マップ	小学校「総合的な学習の時間」支援	コンクリートのはなし	コンクリートパビリオ
委員会	水理委員会	地震工学委員会	地震工学委員会	地震工学委員会	地盤工学委員会	地盤工学委員会	土木教育委員会 生涯学習小委員会	コンクリート委員会	コンクリート委員会
対象者	小中学生	小中学生・小中学校の先生・一般市民	小中学生・小中学校の先生・一般市民	小中学生・小中学校の先生・一般市民	小学生高学年～中学生	小学生高学年～一般	小学校教諭	小学生(レベル1:個人的な調査) 一般, 小中学生の教師, 小中学生のグループ研究など(レベル2)	小・中学生(レベル2)
委員会内順位	水 - 4	地震 - 1	地震 - 2	地震 - 3				コン - 1	コン - 2
概要	国土交通省河川局のページ(下記)の「百科事典」のコーナーをもとに, 1級水系・2級水系について理解してもらおうと同時に, 河川法の紹介なども行う。	地震工学委員会の委員が, お薦めする地震・防災に関するインターネットサイトを抽出し, 内容を紹介し, リンクを張る。	地震工学委員会の各研究会と運営幹事会で, 毎年1つずつ, その年の重大テーマを設定し, 小中学生に解るように, 部分的には, 小中学校の先生を通じて解るように, 図表・絵を多く使って, 平易な解説を掲示する。	テレビや新聞などに出てくる「地震と防災に関する易しい用語」を, 正しく易しく解説した用語集を掲載する。	現在, 土木学会関西支部では, 地域の教育委員会, 小学校と一緒に総合学習用のプログラムを作成しています。その中で, 簡単な土質実験を通じて, 土の不思議を知ってもらう教材の作成を進めています。まもなく完成する見通しです。	これまでに, 一般向けに, 地盤工学のことをわかりやすく解説した書籍の発行や近畿地方で地盤工学上特色のある地域を地図上で示し, 個々の点の簡単な解説を付けたマップを作成しています。本年度は, これをWebサイトで公開すべく, HP化を進めています(土木学会関西支部)。	現場の教諭の悩み教本は参考になるが, 具体的なプランは教諭が立てることになる。素材(地図, 写真, 参考書, 材料など)の取得方法が解らない相談する専門家が周りにいない指導する人員がいな(面白い企画は人手が要る)支援機能を整備することを提案する	身近なところに, コンクリート構造物があることを理解してもらい, コンクリートの役割や構造物などを紹介する。 1. コンクリート施工技術者のこと 2. コンクリートのこと 3. コンクリート構造について 4. いろいろな特殊コンクリート 5. 土木技術者になるには 6. コンクリートで, 何ができるか(土木構造物の紹介) 7. 環境にやさしいコンクリート 8. 地震に強いコンクリート 9. 土木学会ってなあに	土木・建築の分類を問わず, コンクリートを用いた魅力的な国内外の構造物を, 日本地図を使って紹介する。
評価									
レベル1									
レベル2									
レベル3									
備考	リンク集は委員会独自でメンテナンス含め実施してもらう。	リンク集は委員会独自でメンテナンス含め実施してもらう。			No16の活動の参考とする。	No16の活動の参考とする。	中心となり, レベル2のコンテンツ作りも支援する。		地図表示機能を使うと独自コンテンツとなり費用がかかる。

コンテンツ充実のためのアンケート集約結果(3/3)

No.	19	20	21	22
テーマ	小中学校の総合学習用教材・副教材の提供	コンクリート・環境フォーラム	建設技術ネットワーク	電気の出きるまで
委員会	コンクリート委員会(コンクリート教育研究小委員会)	コンクリート委員会(コンクリート教育研究小委員会)	建設技術研究委員会	エネルギー土木委員会
対象者	小中学校教員	土木・建築以外の専門知識をもった社会人および土木学会員	一般(土木事業に係わる技術者、教員全般、一般民間人等)	小中学生
委員会内順位	コン - 3	コン - 4		
概要	小中学校教員が求めるテーマなどに関するアンケート及びヒアリング調査を行い、教材・副教材の作成に着手する。	1. 土木工学において「環境」問題を解決する目的で確立された(されつつある)要素技術を紹介する。 2. 近未来的に解決を迫られている「環境」問題を紹介する。 3. 上記のコンテンツを基に、時事の「環境」に関するトピックを決め、学会員と一般の知識人がWEB上で議論の行えるフォーラムを開催する。	一般人に対する建設技術提供の場として、以下のコンテンツを提案する。「既に、工法・工種等別に、協会、学会、発注機関、研究機関、建設会社等がホームページにより工法・宣伝・相談等の情報提供の場を設けている。従って、土木学会ホームページから、ネットワークを利用して各技術に最適と思われるホームページにリンクを張る」	発電(水力、火力、原子力)、流通(送電、変電)、配電にいたる一連の流れの中で、その設備基盤の一翼を担う土木設備について紹介する。 1. 電気が発電から各家庭に届くまでを説明する。 2. 水力、火力、原子力の発電方式や各土木設備を説明する。 3. 電気を発電所から各家庭に送る流通関連の設備を説明する。
評価				
レベル1				
レベル2				
レベル3				
備考	No.16で実施	3は、現状でも可能		